

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年04月22日

計画の名称	茨城県 偕楽園公園魅力向上集中整備計画												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和03年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	茨城県												
計画の目標	<p>偕楽園公園は、日本三名園の一つである「偕楽園」を中心とした周辺の樹林地を保存するとともに、歴史的・文化的価値の高い史跡・名勝を活かした本園とその借景地として広大な水と緑の空間が広がる拡張部からなる県内の主要観光地であるとともに、県民の憩いの場となる公園整備を昭和43年度より進めている。また未開園部の整備や公園の魅力向上を図るために利用者の利便性の向上を図るための施設整備を進めている。</p> <p>令和元年度より、偕楽園周辺地区の魅力向上を図るため、有識者や県民の代表者からなる検討会を開催し、令和2年5月に「偕楽園魅力向上アクションプラン」をとりまとめた。県民や水戸市などの関係機関、民間事業者などと連携しながら、偕楽園の歴史的・文化的価値を通じて、「あらゆる人々が学び、楽しみ、癒される場」への磨き上げを図り、「日本を代表する通年型観光地」や「県民の豊かな生活を体験できる公園」を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	50	A	50	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	梅まつり期間(2月中旬~3月下旬)中の偕楽園(本園)への来園者を19.4万人(R2)から26万人(R3)に増加 偕楽園の来園者を測定する。	R3当初	R3末	
		194000人	人	260000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	茨城県	直接	茨城県	-	-	官民連携型賑わい拠点創 出事業(偕楽園公園)	特定公園施設(駐車場・園路 等) A=6,526m2	水戸市						50	-	策定済	
												小計						50		
												合計						50		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 実施主体による評価	事後評価の実施時期 令和5年度
	公表の方法 茨城県土木部ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	偕楽園拡張部において、パークPFI制度を活用した飲食施設が開業し、好文亭や月池を望みながら、県産品を使用した食事を楽しむ空間が誕生した。特別なおもてなしを提供する迎賓の場、くつろぎと憩いの場として、偕楽園の新たな魅力が生まれ、周辺地域の賑わいを創出している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
開業施設の幅広い利活用方法の検討を行い、さらなる誘客促進に取り組んでいく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	260000人
	最終実績値	210200人
梅まつり期間の偕楽園（本園）の来園者数		
令和5年度の梅まつりは、例年より好天の日が少なく、来園者数が減少傾向にあったほか、PFI対象施設の開業が1年目であったことから、利用方法が限定的な用途に留まっていたため、来園者数が下回ったと思慮される。		